＜別紙１＞

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

|  |
| --- |
| 株式会社フィールズ |

②施設・事業所情報

|  |  |
| --- | --- |
| 名称：アマポーラ藤沢 | 種別：共同生活援助 |
| 所在地：神奈川県藤沢市 |
| 【施設・事業所の概要】 |
| 開設年月日：平成21年（2009年）9月1日　 |
| 経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人　県央福祉会 |

③理念・基本方針

|  |
| --- |
| **＜法人の理念＞**1. ソーシャルインクルージョン(共生社会)を目指します。
2. 先駆的で開拓的な事業を展開します。

**＜基本方針＞**1. 人権の尊重とサービスの向上を図ります。
2. インフォームドコンセント及びエンパワーメントを大切にした利用者さん主体の支援を推進します。
3. 地域との共生をめざします。
4. ニーズの多様化と複雑化に対応します。
5. 社会のルールの遵守（コンプライアンス）を徹底します。
6. 説明責任（アカウンタビリティー）を徹底します。
7. 人材の確保・育成のための研修体制を充実します。
8. 柔軟で行動力のある組織統治（ガバナンス）を徹底します。
9. 財務基盤の安定化に努めます。
10. 国際化への対応に取り組みます。
11. 社会貢献活動に積極的に取り組みます。
 |

④施設・事業所の特徴的な取組

|  |
| --- |
| 利用者の傾聴を大切にした支援を行っています全職員が傾聴の大切さを理解し意識的に行っているため、不安定になりがちな利用者やストレスを抱えやすい利用者が落ち着き、安定した生活ができています。職員に話を聞いてもらいたい利用者が多く、よく話をしに来るため職員室のドアは常に開けた状態にし、いつでも話を聞く体制を整えています。夕食後はリビングで職員が利用者と一緒に会話をし、利用者の話を聞きながら楽しい雰囲気作りに努めています。利用者の意思を尊重し、自立した生活を支援しています利用者の意思や尊厳を守り、基本的にできることは自分で行ってもらい、見守りやサポートをする支援を行っています。食後の食器洗いや洗濯、部屋の掃除などは自分でしていますが、掃除ができない利用者で本人の同意があれば職員が一緒に片づけています。役所に出す書類の書き方や生活の中で分からないことが発生した場合には、職員が手伝いできるように支援しています。休日は散歩や映画、演劇を観に出かけるなどそれぞれ好きな過ごし方をしています。誕生会の食事は希望を聞いて特別メニューにしています。喫煙や飲酒も、医師に禁止されていなければ可能です。ホーム内のルールは出来るだけ無くして、利用者が自由に生活できるような支援を行っています。 |

⑤第三者評価

|  |  |
| --- | --- |
| 評価実施期間 | 平成31年3月30日（契約日）～令和元年11月7日（評価結果確定日） |

の受審状況

|  |  |
| --- | --- |
| 受審回数（前回の受審時期） | 2回（平成28年度） |

⑥総評

|  |
| --- |
| **◇特に評価の高い点**1．緊急時に備え「緊急時対応利用者個人情報カード」を整備し、定期的に防災訓練を実施しています　利用者一人ひとりの「緊急時対応利用者個人情報カード」を作成しています。カードには緊急時連絡先、かかりつけ医、現在の疾病、服薬状況、病歴などが記載され、緊急時に備えていつでも活用できるように整備されています。年3～4回防災訓練を実施しています。2回は法人主導で行い、法人から緊急安否確認メールが配信され、安否確認を行っています。1回はホームで計画し、日中に利用者と職員で避難訓練を実施しています。職員の勤務は24時間体制で夜勤は1名で2ユニットの対応をしています、警備会社と契約し緊急時には連絡し駆けつけてもらえる体制を整え、エリアマネジャーの携帯電話にも連絡が取れるようになっています。2．訪問看護師によるバイタルチェックを実施し、健康管理を行っています　月1回訪問看護師がバイタルチェックを行い、体重の増減などを把握し、健康に関する相談に応じています。職員と訪問看護師間で利用者の情報を共有し、利用者に体調の変化があった場合は連絡し、指示を仰ぐことができる体制になっています。体調の悪い利用者には受診付き添いを行っています、必要な利用者には定期受診にも付き添い、病状やメンタル面での把握を行い主治医との連携を図っています。定期健康診断は法人の通所事業所で一緒に実施し、結果通知をもらい健康状態を把握しています。**◇改善を求められる点**1．事業計画の主な内容を利用者や家族に周知する機会作り毎年職員会議などで全職員の意見を聞き事業計画を作成しています。事業計画の内容は職員に周知していますが、利用者や家族への周知まではしていません。利用者には事業計画の主な内容を分かりやすく説明し、毎年の目標達成に一緒に協力できるように働きかけることが期待されます。2.　地域との更なる連携強化現在ホームでは自治会に加入していますが、近隣との交流があまりありません。毎年夏祭には利用者と参加していますが、地域の避難訓練など自治会の行事や会合に参加し、地域とホーム双方で理解を深めていくことが期待されます。 |